

事業所職員向

放課後等デイサービス自己評価表

職員8名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			移転して広くなった事で充実していると思う。	療育室が以前より広くなった為、充実した活用方法を検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		配置は適切であるが、会議等で不在により、現場が慌てる事が多い。基準は満たしているが1人に複数の役割がついていて、業務負担に差がある気がする。	配置は適切であるが、男女比に差がある為、バランスよく勤務できるようにしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	1	盲目の児童がいるが、職員の誘導のみで、手すりや表示等がない。	手すり等の設置を検討していく。それまでは、スタッフの付き添いを継続していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			ミーティングや申し送り以外でも、普段のコミュニケーションでも、スタッフ間で共有できていると思う。	継続して、月に1回以上のミーティングを行い、児童や日課活動について改善に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				毎年、継続して実施し、改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで公開している。	ホームページにて日課活動と自己評価を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2			外部ではないが、法人内で委員会やエリアマネージャーを設置している。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			毎月ミーティングを行っている。	外部研修への参加や内部研修もやっている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			個別支援計画書など児発管が作成している。	定期的にあセスメントを行い、個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8				法人内で使用しているアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			日課を皆で話し合って作成できていると思う。	月のミーティングにて日課の内容について話し合いを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8				休日や長期休暇に応じた日課を取り入れるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		状況的に個別で入れてはいないが、個人の目標を聴取している。今後の個別課題へつなげていきたい。	子どもの状況に応じて集団や個別での目標を設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		特記事項がある時はやっている。送迎や活動内容の申し送りができている。	昼礼や終礼にて日課内容の確認や1日の申し送り事項を共有している。また、アプリツールを使用して情報共有もやっている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			送迎後、申し送りをしている。活動の目的をしっかりと、全体でみれる等の工夫をしていきたい。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			毎日、支援経過記録を書いている。内容の充実を図りたい。	支援経過記録の記入内容についても再度、確認を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				定期的なモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8				ガイドラインに沿った活動が行えるようにスタッフ間で共有している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				今後は、児発管以外のスタッフも会議に同席できる環境を作っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8				保護者との連絡を適切に行い、学校とも連携しながら行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		対象児童がいない為、わからない。	医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、協力医療機関は提携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8				相談員を介して会議を開いてもらい、利用前に情報共有する事ができている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1			卒業する児童が障害福祉サービスを利用する為、情報共有を行っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1			今後、連携を密にしていき研修等の機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1		コロナの影響もあり、交流する機会が減っているので、可能な時が来たら交流したい。	コロナの状況を見ながら交流する機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	5		コロナが落ち着いてきているが、積極的な参加はできていない。	コロナの状況を見ながら参加する機会を増やしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時やまはろノートなどで報告を行っている。	継続して保護者との情報共有を行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3		ペアレントトレーニングの研修をスタッフも受講したい。	スタッフ間でペアレントトレーニングの内容を確認し、必要に応じて保護者へ支援を行っていききたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				契約時に行っている。今後も丁寧な説明を心がけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				送迎児等に相談に応じ、スタッフ間で情報も共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	1	コロナの影響もあり、開催する事ができていない。	今年度は、法人内で合同の保護者参加の活動を行った。継続して取り組めるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			マニュアルを作成し、迅速に対応できるようにしている。	マニュアルを再度、スタッフ間で共有するとともに見直しも行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				継続して、ブログにて日課活動を公開するとともにInstagram等でも公開していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	8				書類に関しては、鍵付きの書庫を使用している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			保護者とは、送迎時やまはろノートなどで情報交換を行っている。	児童に対しては、視覚教材など特性に配慮した意思伝達方法を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	1	コロナで難しい状況である。	事業所に招待する事はできていないが、2月に展示会を開催している。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				今年度、法人内でマニュアルの見直しを行い、スタッフに周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		日課活動にて避難訓練を実施している。	児童の動きだけでなく、スタッフの動きも意識して避難訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				外部の虐待研修の受講と内部でも虐待についての研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				個別支援計画書に記載し、保護者へ同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			個人ファイルに記載があり、スタッフ間で共有もできている。	今後は、見える場所への掲示も行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8				報告書を作成し、スタッフ間で共有もできている。